

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成29年1月25日

協議会名: 深谷市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
(株)協同バス	北部定期便: 深谷駅北口～渋沢栄一記念館～深谷駅北口 (車両減価償却費等国庫補助金申請系統) 西循環便: 深谷駅南口～深谷駅北口～深谷駅南口 (車両減価償却費等国庫補助金申請系統)	<ul style="list-style-type: none"> ・北部デマンドの深谷赤十字病院への直接運行の開始 	A 計画どおり事業は適切に実施された。	【目標1:利用者数の増加】 (目標)59,700人 (実績)80,492人 【目標2:利用者満足度の向上】 (目標)利用者アンケートで各項目とも前年度調査以上の満足度 (実績)12項目中、2項目達成	平成27年度に運行の大幅な見直しを実施してから1年以上経過し、市民への定着が進んだ結果、利用者数は目標値を大きく上回ることができた。しかし、利用者満足度は前年度に比べ全体的に低下しており、収支率も前年度よりやや改善したものの目標を達成することができなかった。
花園観光バス(株)	北部デマンド 南部デマンド	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネット予約の開始 ・定時定路線とデマンドバスの結節点の追加 ・民間路線バスとデマンドバスの結節点の追加 	A 計画どおり事業は適切に実施された。	【目標3:収支率の向上】 (目標)10.6% (実績)8.9% 【車両取得に係る目標:車椅子利用者数】 (目標)8人 (実績)6人	今後は、利用者アンケートの結果を踏まえ、定時定路線とデマンドバスの結節点の見直し、デマンド地区間の結節点の追加等を実施し、利用ニーズが高い場所へのアクセスを確保できるよう改善していく。また、運賃収入外の収入確保策を検討し、収支率の向上を図っていく。
深谷タクシー(有)	岡部デマンド 川本デマンド 花園デマンド	<ul style="list-style-type: none"> ・運転免許証自主返納者への割引の開始 	A 計画どおり事業は適切に実施された。	利用者数については、目標を大きく上回ることができた。車椅子利用者は目標値を若干下回り達成できなかったが、概ね目的を達成していると考えている。利用者満足度、収支率に関しては目標を達成できなかった。	引き続き自治会における説明会や広報活動を行い、市民のバス利用に対する理解を深め、利用者の増加と収支率の改善に繋がるよう情報提供に努めていく。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成29年1月25日

協議会名:	深谷市地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>深谷市は面積が138.41km²、人口145,053人で埼玉県北西部に位置し、平坦な地形を呈している。また、市内には広域的な移動手段であるJR高崎線と秩父鉄道の2つの鉄道で計6駅が整備されており、この鉄道と結節する地域間移動の足として、市内に民間路線バスが4路線運行されている。コミュニティバス「くるリン」は、これらを補完する役割として平成12年度から本格運行しているが、広域的に循環させるため路線が長大化し本数も少なく、交通空白地帯も多く残されている。</p> <p>このような状況を踏まえ、今後、高齢化による交通弱者が増加していく中において、交通弱者の病院・買い物施設等への足の確保が課題であり、効率的かつ効果的な公共交通ネットワークを構築していくことが必要となっている。</p> <p>そこで、鉄道や民間路線バスとコミュニティバス「くるリン」を有効に結節させ、既存の公共交通を維持確保するとともに、交通弱者の足の確保および交通空白地帯の解消を目的として本事業を実施する。</p>